

一家洗脳♥ホームステイ



催眠/NTR 美人母娘丼 一家洗脳
ギャル化 常識変換...etc

じゃあ、行ってくるぞ明美。
美亜、今夜はあまり遅く
ならんようにな。

妻 笹野明美

はい、行ってらっしゃい。
頑張ってきてね。

長女 笹野美亜

はいはい、お父さんこそ
あんまり残業しすぎない
ように！

はは、わかったわかった。
受験まで半年切ったんだし、
そろそろ気合入れろよ。

いつもどおりの会話。
いつもどおりの通勤風景。

最近、なんとはなしに
この繰り返しに幸福を
感じられるようになった
気がする…。

商社勤務はたしかに
激務だ。それでも、家族を
守るためと思えばどんなことでも
耐えられる。

こんなことを考えるように
なったのも、俺が中年に
なりかけているという
ことなのかもしれない。

ただ、それならそれで
幸せなことだとも思う。

この日常がずっと続けばいい。
そんなことを思いながら、
俺は会社へと向かった。

そのときだった。

おっ
おほっ

おっ
おほっ

2週間後…

んおっ
んほっ

おっ
おほっ




違和感…そう、違和感だ。

この例えようのないもどかしい
感覚が消えなくなったのは、
いつからだったろうか。

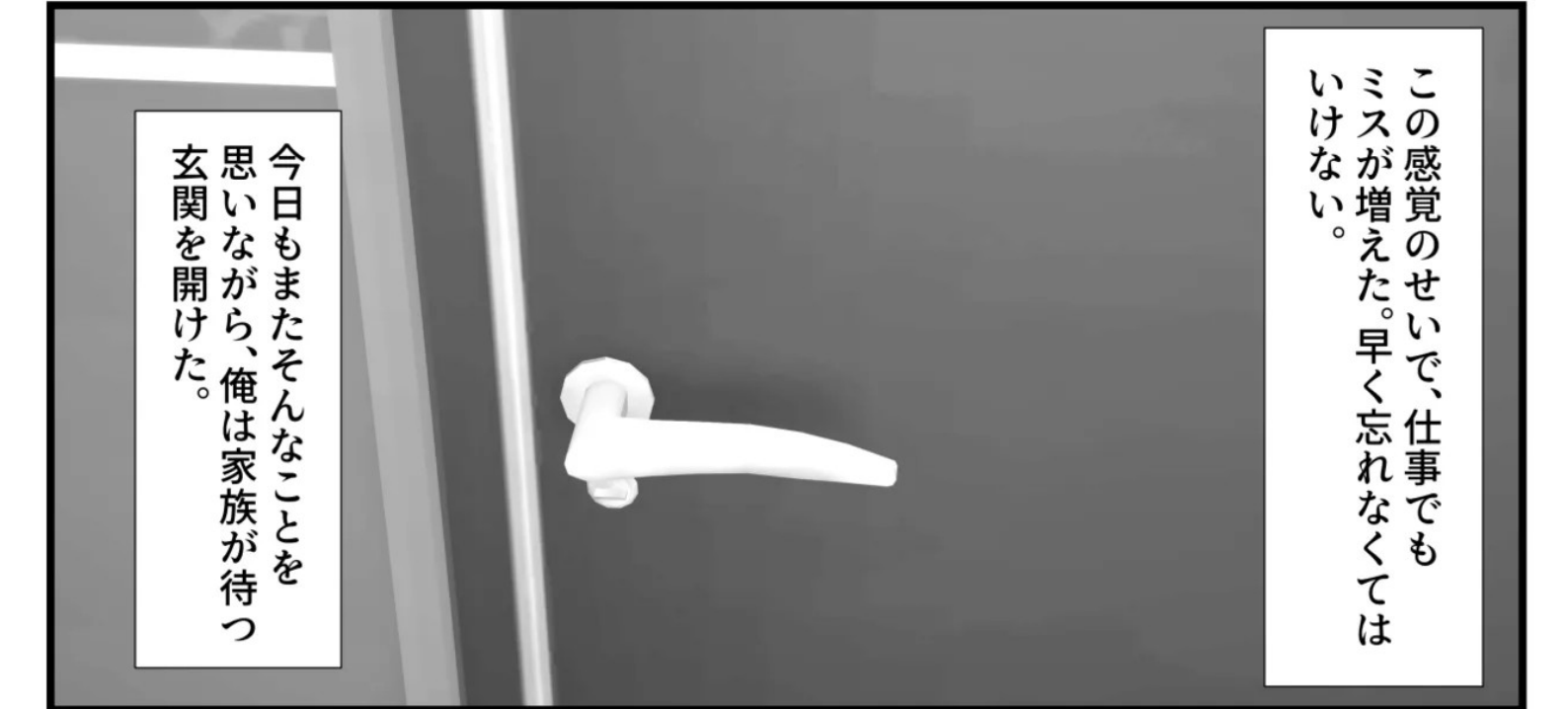
会社で仕事をしていても、
電車に揺られていても、
いつも何かを忘れている、
この感じ…

家庭に不満があるわけではない。
心配事といえば美亜の受験の
ことくらいだが…



美亜の成績も、明美が連れてきた
家庭教師の先生のおかげで
だいぶ伸びたと聞いている。

何も心配はない…はずだ。
それなのにどうしても消えない、
この「違和感」。



この感覚のせいで、仕事でも
ミスが増えた。早く忘れなくては
いけない。

今日もまたそんなことを
思いながら、俺は家族が待つ
玄関を開けた。

ただいま。

あらお帰りなさい、
今日は早かったわね。

いやあ疲れたよ。
美亜は？

先生がいらしてるんだから、
『勉強中』に決まってるじゃない。

ほら、帰ったんだから
早く着替えなさいね。
みっともないわよ。

おっといけない。
俺は急いで服を脱いで
丁寧にたたみ、下着姿になった。

俺はこの家で
一番下の立場なのだから、
人間のように服を着ていたら
みんなに嗤われてしまう。

歩くたびにぶるぶると揺れる
妻の巨乳に生唾を飲みながら、
俺は美亜の部屋に向かった。

アハハハ

美亜、入るぞ〜。

フフフフ！



先生、いつも
ありがとうございます。
先生のご指導のおかげで
成績も伸びたそうで…

いや〜ハハハ！
娘さん、最初はフェラも
全然下手くそでねえ。
ま、私の調教のおかげで
ちよっとはマシに
なりましたよ〜w



そうだ、食事の用意が
できたそうなので、ぜひ
先生も召し上がっていい
くださいね。

オッオッ…♡
わかりました、
いまいきますんでw

オラッ！教えた通り
ベロ高速で動かせ！
視線こっちだぞ！

お〜イクイクッ…
イクッ！！
イクッ！！
イクッ！！

いやーウマイ！
やっぱり明美の料理は
最高だなあ♥

先生、本当にご遠慮なく
召し上がってくださいね。

いやーもう満腹な
くらい頂いてますよW

今日のメインディッシュは
なんととっても明美の
このたっぷりおっぱい♥

美亜ちゃんを育てた
この下品な
人妻おっぱいを！

なんと美亜ちゃんに
チンポしゃぶらせながら
堪能できるなんて
最高すぎますよーW

んほ♡

んほ♡



んほっ♡
ちよっとお、
お食事中に
裏筋れろくってw

あくキクキク♡
金玉から亀頭の
先っちよまでえ♡

わろ



あくヤバイヤバイ♡
ガチ催眠ヅラで
ヘリコプターフェラ最高♡
下品すぎ♡

うふふ♡
美亜もご奉仕が
上手になったわね♡

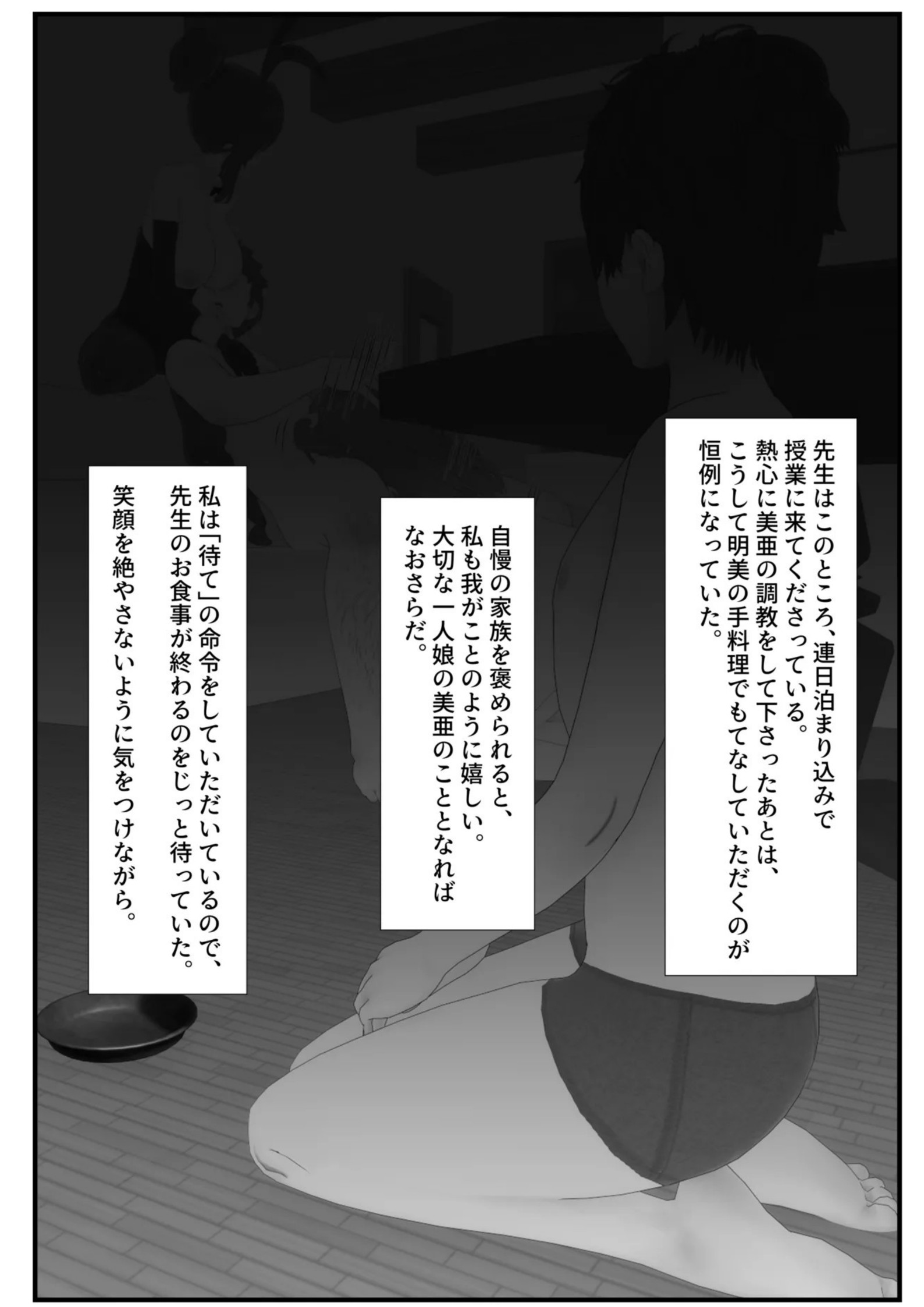
ぼろん♡
わろん♡

ぼろん♡
わろん♡

いや、明美の食事も最高だけど、
美亜ちゃんのフェラも
さすが優等生ですねえw

今夜こそ食事が先と思ったけど、
今日もごちそうさまの前に
ドッピュンでしたよ♥

お食事中にマナーが悪くて
ごめんなさいね、まだまだ
子供ですから：フフッ



先生はこのところ、連日泊まり込みで
授業に来てくださっている。
熱心に美亜の調教を下さったあとは、
こうして明美の手料理でもてなしていただけの
恒例になっていた。

自慢の家族を褒められると、
私も我がごとのように嬉しい。
大切な一人娘の美亜のこととなれば
なおさらだ。

私は「待て」の命令をしていただけで、
先生のお食事が終わるのをじっと待っていた。
笑顔を絶やさないように気をつけながら。



ああすっかり忘れてたw
旦那さんも食べていいですよ、
『良しっ』！



やった！
私は猛然と眼の前の残飯に
むしゃぶりついた。

家の外での食事は先生に
禁止されているので、
私は毎日お腹がぺこぺこなのだ。



ははは、
喰ってる喰ってる笑
一流商社マンが
惨めですねえ〜！

クスタ
恥ずかしいですわ、
昨日の先生の残飯を
あんなに嬉しそうに…

ハイハイハイ

はくクッソげっぷ出たw
死ぬほど満腹だわ。

さして、今夜は
こいつらの脳みそ
どういじくって遊ぶかな♥

この洗脳アプリを手に入れてから、
俺の負け組人生は突然
天国(パラダイス)になった。

高卒ニートだった俺が、
今ではスマホひとつで
女も金も思いのまま。

デリヘル嬢で一通りアプリの
「実験」をした後、
俺が「本番」として目をつけたのが、
隣人の笹野家だった。

俺が小学生に悪戯したと
通報しやがった笹野。

俺がゴミをあさった、下着を
盗んだと言いがかりを付けた
嫁と雌ガキ。

証拠もないくせに一方的に
俺を犯罪者扱いした上級国民共…。
この一家への復讐こそが、
新しい俺の人生の「第一歩」となる。

むち

むち